

燃やせるごみと燃やせないごみの有料化まであと11カ月

■詳細 減量対策課 055-4266 清掃事業課 055-4077

平成24年4月からスタートした「ゼロごみ大作戦」ステージ3では、ごみの減量やリサイクル意識の向上、ごみの有料化についてきめ細やかな周知活動を行ってきました。今回の特集では、7月1日から始まる「燃やせるごみと燃やせないごみの有料化」の概要について紹介します。

「ごみ有料化って？」

家庭から排出されるごみを、適正に処理するための費用の一部を、市民が手数料(有料指定ごみ袋)で負担するしくみのことです。

苫小牧市では、7月1日から新たに、家庭から排出される「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」の2種類を有料化します。

なぜ2種類なの？

燃やせるごみは、生ごみやティッシュ、紙おむつなどです。これらは、再利用することが難しく、焼却したあとに灰として残り、埋立施設での処理を必要とします。

また、燃やせないごみは、刃物や割れたコップなどです。こちらよりリサイクルに向かないため、細かく破砕処理した後、埋立処分が必要になります。

リサイクルできない2種類を有料化の対象にしました。

「このまちの燃やせるごみ」

ごみ有料化は、大幅なごみの減量が期待されています。特に燃やせるごみは、**下表1**のとおり平成26年で年間5万トンを下回ると予想されています。この5万トンという数値は、現在稼働している糸井清掃センターを使

用せず、沼ノ端クリーンセンターだけで処理できる量です。30年以上稼働し、老朽化が進んでいる糸井清掃センターの建て替えをする必要がなくなることは、みなさんの負担を減らすことにつながります。

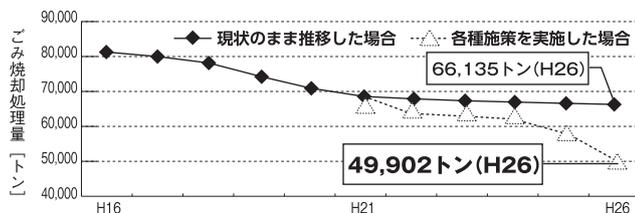
「このまちの燃やせないごみ」

燃やせないごみは、細かく刻み、破砕処理をしたあとに埋め立てられます。現在の中には、多くの資源が混ざっており、分別が進むと燃やせないごみの排出量は**下表2**のとおり半分以下になることが見込まれています。埋立処分場の延命化により、新たな処分場の建設を遅らせることができますようになります。

紙類分別が始まります

資源物はリサイクルの観点から、無料で収集しており、缶・びん・ペットボトル・紙パックに加え、平成22年から始まったプラスチック、今年7月からは紙類の分別が始まります。紙類は、紙箱、紙コップ、メモ用紙やレシートなども含まれます。また、家庭でシュレッダー裁断された紙くずも一緒に出せます。回収後は、市内業者で固形燃料などにリサイクルされます。

表1 ごみ減量の推移(予想)



■平成26年度の目標値

	現 状 (H21年度)	目 標 (H26年度)
1人1日当たりの家庭ごみ排出量	698グラム	550グラム
リサイクル率	17.3%	28.0%

表2 ごみ排出量はこんなふうに変わります(4人家族の場合)



ごみ収集カレンダー

町ごとの収集日がわかるごみ収集カレンダーを全戸配布しています。届かない方は清掃事業課へ連絡してください。



クリーンとまこまい、届きましたか？



6月から指定ごみ袋を販売します

市内のスーパー、コンビニ、ホームセンター、ドラッグストアなどで販売します。取扱店はシールが目印です。5ℓ、10ℓ、20ℓ、30ℓ、40ℓの5種類の大きさがあります。(別紙P3)

7月から使える、ごみと資源の分別方法や出し方、制度について紹介する冊子「クリーンとまこまい」を全戸に配布しています。届かない方は、清掃事業課へ連絡してください。

